

令和2年9月11日

日本プロボクシング協会 御中

一般財団法人日本ボクシングコミッション

PCR検査における注意点（チーフセコンド）

令和2年8月12日付貴協会宛て文書「PCR検査における注意点」の運用において一部変更がありましたので、以下にお知らせ致します。

記

【変更前】

- チーフセコンドは二日続けてセコンドをすることができない。

【変更後】

- チーフセコンドは原則として二日続けてセコンドをすることができない。但し、以下の場合に限り例外として二日続けてのチーフセコンドを認めることがある。
 1. 第1興行終了後、公共交通機関を利用せず速やかに自主分離に入る。
 2. 第2興行開始前にJBCの指定する時間、場所にて抗原検査を受ける。
 3. 抗原検査の陰性判定確定後、速やかに興行開始まで分離措置をとる。

(例) 試合日が9月26日と27日の二日連続の場合

9月25日	前日計量	PCR検査	○	→	(翌日会場入りまで分離措置)
9月26日	前日計量	PCR検査	×		
	試合				試合でのチーフセコンド ○ (公共交通機関を利用せず分離措置)
9月27日	JBCの指定時間	抗原検査	○		(当日会場入りまで分離措置)
	試合				試合でのチーフセコンド ○

- チーフセコンドがPCR検査等で陽性判定となった場合、選手が陰性でも濃厚接触者と認定される可能性が高いことを考慮し、原則としてその試合は中止とする。但し、保健所による濃厚接触者の認定に時間がかかる場合などのために、予め他のセコンドの当該選手との日常的な関わり、接触の頻度などを申告することにより、そのセコンドのPCR検査等での陰性判定をもって、代替チーフセコンドにつくことを認めることがある。

以上